

競技注意事項

1. 規則について

本大会は平成22年度日本陸上競技連盟規則、ならびに本大会申し合わせ事項により運営する。

2. 駒場第一グラウンド使用上の注意

競技場は全天候舗装である(競技規則第 143 条の競技用靴に関する条項を参照)。

練習はコンコース(バックストレート側のみ)を利用すること。コンコース(バックストレート側のみ)は、一方走行とし、逆走は厳禁とする。また、各審判員の指示には必ず従うこと。

フィールド競技種目の練習は、各審判員の指示に従い競技開始前に各々の競技場所にて行う。

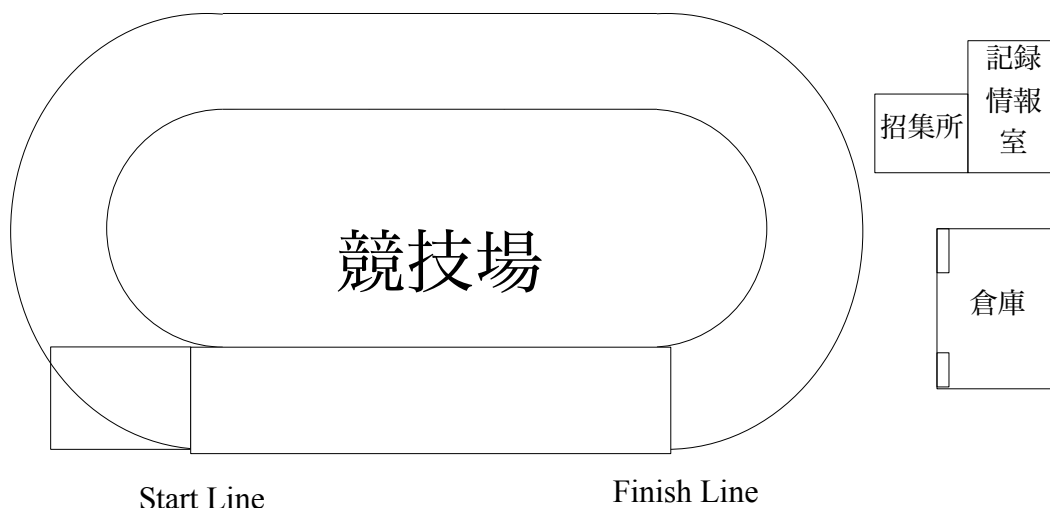
3. ナンバーカードについて

ナンバーカードは各自作成の上、胸と背に確実につけること。ただし、走高跳・棒高跳競技者は胸、または背だけでもよい。トラック種目出場者は競技者係で配布する写真判定用腰ナンバー標識(競技終了後回収)をパンツ右下やや後方につける。

ナンバーカードは男子は白色地×黒字、女子は白色地×赤字とする。

4. 競技者の召集について

競技者召集所は、下図の場所に設置する。



招集開始・完了時刻は、次表の通りとする。なお、招集完了時刻は競技日程を基準とする。

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック種目	競技開始 60 分前	競技開始 30 分前
フィールド種目 ※棒高跳除く	競技開始 60 分前	競技開始 30 分前
棒高跳	競技開始 90 分前	競技開始 60 分前

代理人による点呼は認めない。ただし、競技者が他の種目に出場中の場合、代理人は競技者が競技中である旨を必ず競技者係に申し出ること。

招集完了時刻に遅れると、当該種目を棄権したものとして処理するので注意すること。リレー競走は、オーダー変更の有無にかかわらず、その都度オーダー用紙(招集所に用意)に記入して、招集完了時刻の60分前までに競技者係に提出すること。

5. 棄権について

エントリー後、病気または事故により、やむなく棄権する場合は、競技者係に必ず申し出ること。ただし、前日の代表者会議にて棄権を申し出た場合はその必要はない。

6. 競技の抽選・番組編成

100m、110mH、リレー競走を除くトラック競技の走路は、男子の部では一橋大学1・3・5レーン、東京大学は2・4・6レーンとし、申請記録上位者から一橋大学は3・1・5レーンの順に、東京大学は4・2・6レーンの順に割り振る。

100m、110mHの走路は一橋大学2・4・6レーン、東京大学は3・5・7レーンとし、申請記録上位者から一橋大学は4・2・6レーンの順に、東京大学は5・3・7レーンの順に割り振る。

4x100mRの走路は一橋大学3レーン、東京大学4レーン、4x400mRでは東京大学3レーン、一橋大学4レーンとする。

女子の部では一橋大学1・4レーン、津田塾大学2・5レーン、東京大学3・6レーンとし、申請記録上位者から一橋大学は4・1レーンの順に、津田塾大学は5・2レーンの順に、東京大学3・6レーンの順に割り振る。

100mの走路は一橋大学2・5レーン、津田塾大学3・6レーン、東京大学4・7

レーンとし、申請記録上位者から一橋大学は5・2レーンの順に、津田塾大学は3・6レーンの順に、東京大学4・7レーンの順に割り振る。

4×100mRの走路は一橋大学3レーン、津田塾大学4レーン、東京大学5レーンとする。

OPの部では、100m、110mHを除くトラック競技は1レーンから6レーンを、100m、110mHは2レーンから7レーンを使用し、申請記録をもとに番組編成を行う。

フィールド競技の試技順はすべての部においてプログラム記載順とする。

7. 競技について

トラック種目はオープンの部、対校の部の順に行い、フィールドは対校の部、オープンの部の順で行う。

フィールド競技について、正選手の試技数は6回、OP選手は3回とする。

走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、当日のコンディション及び参考の申し合わせにより、審判長が決定する。

三段跳の踏切板の位置は当日のコンディション及び参考の申し合わせにより、審判長が決定する。

5000mでは、バックストレートに給水所を設置し、水を用意する。給水後のコップについては他の競技者の妨害になるような捨て方は厳禁とする。

8. 対校得点および順位

対校得点は、男子の部ではリレー競走を除く各種目で1位4点から4位1点まで1点刻みとし、以下は0点とする。リレー競走(4×400mR、4×100mR)は1位4点、2位2点とする。

女子の部では、1位6点から6位1点まで1点刻みとする。リレー競走(4×100mR)は1位6点、2位4点、3位2点とする。

なお、失格・棄権・無効試技などは0点とする。

優勝校は最多得点校1校とする。最多得点校が2校以上ある場合は、1位種目の多

い大学を優勝校とする。これで決定しない場合、男子は4×400mR、女子は4×100mRの順位で決定する。

9. その他

2010年度の日本陸上競技連盟競技規則修改正点について特に注意すること。

本競技会における不正スタートに関しては、国際陸上競技連盟 (IAAF)が決定した、1回失格の新規則は適用せず、2回目は誰であろうと失格、混成競技では同一競技者が2回犯した場合を失格とする従来の規則を用いる。

競技運営上、多少の競技日程変更がある場合もある。

選手への応援は、競技の進行の妨げにならない限り、場所は特に指定しない。

競技場内で出たゴミは所定の場所に分別して捨てること。

盗難・紛失について、主催者側で預かった物品に関しては一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない。

競技中の事故等による身体の故障の場合、応急処置を行うが、その後の治療費等は本人負担とする。また、事故の結果について本連盟は一切責任を負わないものとする。